

1 点検結果

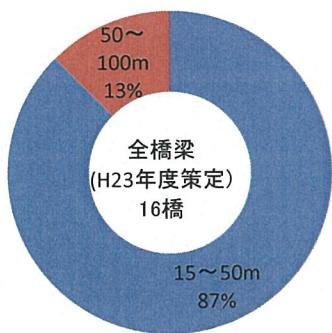
(久米南町)

(1)長寿命化策定橋梁

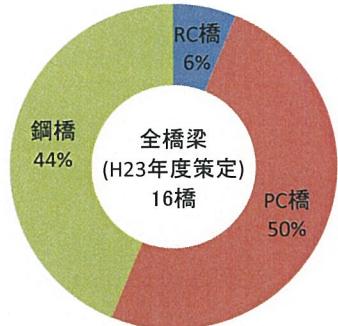
平成23年度に長寿命化計画を策定した橋梁(15m以上)16橋の、橋長別、橋種別、架設後経過年数別の集計を図-1に示す。

- 橋長は15~50mが約9割を占めている。
- 橋種は、鋼橋とコンクリート橋がほぼ同数である。
- 架設後経過年数は、40~49年が3割程度と最も多い。

橋長別橋梁割合



橋種別橋梁割合



架設後経過年数別橋梁割合

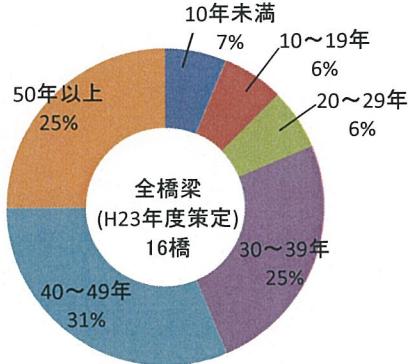


図-1 平成23年度長寿命化策定橋梁の内訳

(2) 損傷状況

平成23年度長寿命化計画策定橋梁の損傷については以下の傾向がみられる。

・橋梁主構造(上部工、下部工)の損傷は半数の橋梁に見受けられる。

(全16橋、損傷橋梁8橋 割合50%)

・路面のクラック、凹凸および高欄・防護柵の損傷は7割程度となっている。

(全16橋、損傷橋梁11橋 割合69%)

損傷状況

(1) 鋼橋

緊急補修または予防保全が必要な損傷のあった橋梁は6橋あり、鋼橋全体(7橋)の86%にあたる。

表-1 鋼橋の損傷内容

橋種	部材	損傷	箇所数	損傷率
鋼橋	桁	腐食	4	57%
		亀裂		
		ボルト脱落		
		破断		
	床版	ひびわれ		
		鉄筋露出		
		抜け落ち		
	下部工	ひびわれ		
		鉄筋露出		
		下部工損傷		
		腐食		
		亀裂		
		ボルト脱落		
		破断		
	支承	機能障害		
	伸縮装置	損傷	4	57%
橋数		8		
実橋梁数		6		
点検数		7		
損傷率		86%		

(2) RC橋

緊急補修または予防保全が必要な損傷のあった橋梁は1橋あり、RC橋全体(1橋)の100%にあたる。

表-2 RC橋の損傷内容

橋種	部材	損傷	箇所数	損傷率
RC橋	桁	ひびわれ	1	100%
		鉄筋露出		
	床版	ひびわれ		
		鉄筋露出		
		抜け落ち		
	下部工	ひびわれ		
		鉄筋露出		
		下部工損傷		
	支承	機能障害		
	伸縮装置	損傷		
橋数		1		
実橋梁数		1		
点検数		1		
損傷率		100%		

(3) PC橋

緊急補修または予防保全が必要な損傷のあった橋梁は1橋あり、PC橋全体(8橋)の13%にあたる。

表-3 PC橋の損傷内容

橋種	部材	損傷	箇所数	損傷率
PC橋	桁	ひびわれ		
		鉄筋露出		
	床版	ひびわれ		
		鉄筋露出		
		抜け落ち		
	下部工	定着部異常		
		ひびわれ		
		鉄筋露出		
		下部工損傷		
	支承	機能障害		
	伸縮装置	損傷	1	13%
橋数		1		
実橋梁数		1		
点検数		8		
損傷率		13%		

(4)その他

路面の凹凸、路面クラック、高欄損傷のあった橋梁は11橋あり、全体(16橋)の69%にあたる。

表-4 その他の損傷内容

橋種	部材	損傷	箇所数	損傷率
全 橋 梁	路面	クラック	3	19%
		凹凸	7	44%
	高欄	損傷	5	31%
		橋数	15	
		実橋梁数	11	
		点検数	16	
		損傷率	69%	

※ 橋数＝損傷数、実橋梁数＝損傷橋梁数